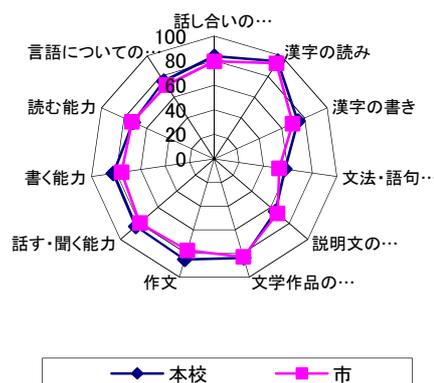


宇都宮市立瑞穂野中学校 第1学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容の聞き取り	83.7	79.5
	漢字の読み	94.7	92.6
	漢字の書き	74.2	69.5
	文法・語句に関する知識	57.6	52.9
	説明文の内容の読み取り	65.3	67.4
	文学作品の内容の読み取り	83.7	82.9
	作文	85.2	77.4
	話す・聞く能力	83.7	79.5
観点別	書く能力	82.3	75.6
	読む能力	72.0	73.1
	言語についての知識・理解・技能	75.4	71.5



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容の聞き取り	市の平均正答率を4%上回っている。特に「話し合いの話題や方向を的確にとらえたうえで、自分の考えをまとめることができる」記述式の問題において、約11%上回っており、表現する力が身に付いてきている。	聞き取りの力をさらに高めるため、より細かな表現の違いについて考える機会を多くする。
漢字	市の平均正答率を2%上回っている。	「読み」の正答率に比べて「書き」の正答率が低いのは市の傾向と同じであるが、「書き」の定着に向けて復習テストの機会を多く設けたい。また、「瑞穂野地域学校園漢字習得基準表」をスタンダードテスト以外の場でも活用していく。
文法・語句に関する知識	市の平均正答率を約5%上回っている。特に故事成語については15%上回っていて、言語に対する意識や関心が高いことがわかる。反面、部首については若干下回っている。	言語に対する意識や関心を伸長させるべく、授業での国語辞典の活用を継続する。
説明文の内容の読み取り	市の平均正答率を2%下回っている。特に「文章の展開に即して内容をとらえることができる」問題での正答率が0～8%下回っている。また「文章の展開に即して要旨をとらえることができる」問題では9%下回っている。	記述式の問題において、理由を問われた時には「～から」と書くといった解答の技術の段階での不注意が多い傾向があるので、より正確な解答を迫る姿勢を身につけさせたい。また、問題文の一部を抜き出したままで解答してしまう傾向もあり、同じくより正確な解答を迫る姿勢を身につけさせたい。
文学作品の内容の読み取り	市の平均正答率とほぼ同じである。	心情の読み取りに関しては、直接的表現だけでなく、すべての描写から読み取る学習を続けており、今後も継続して「行間を読む」力を伸長させる。
作文	市の平均正答率を8%上回っている。「全体を見通して、書く事柄を整理する」及び「目的や意図に応じて、自分の考えを書く」ことは正答率が高いが、「文章全体の構成を考える」ことの正答率が低い。	文章構成のパターンを繰り返して習得するために、実際に書く機会を多く持つ。また、問題文の条件を確認せずに解答してしまう傾向があるので、条件まで確認することを習慣づける。